

はなみずきのまちだより

■編集・発行 / 社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

■ホームページ / <http://www.chikusa-shakyo.jp/>

第4次地域福祉活動計画づくり 始まりました!!

平成26年度からの5年間、区民のみなさまと一緒に、「誰もが安心して生活できる千種区」を目指し、第3次地域福祉活動計画をすすめてきました。本年度は、その最終年度であり、平成31年度からの5か年計画(「第4次地域福祉活動計画」)づくりもすすめます。

7月27日(金)には、第1回作業部会が開かれ、具体的な計画づくりが始まりました。これまでの計画を見直しながら、今日的な福祉課題や、千種区の「今」と「これから」をふまえて、計画を完成させたいと思います。



ちよいぼう講座
「珈琲の淹れ方講座」

第1次~3次 計画までの 活動記録



区民のみなさまとの
活動会議



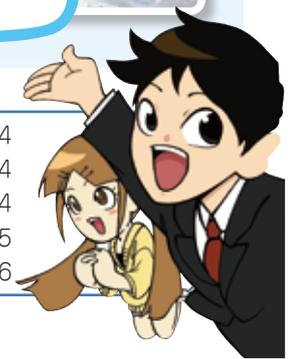
ふくしPRキャンペーン in
千種図書館



学生との漫画企画の
打合せ

こ こ こ	第4次地域福祉活動計画づくり始まりました!!	…… P.1
	クローズアップ 外国人も地域の構成員!	
	つながりは、共感・親しみから広がります。	…… P.2
	平成29年度 事業報告・決算報告	…… P.3
	「福祉教育」の取り組みをご紹介します(^_^)/	…… P.3

平成30年度 ボランティア・NPO応援助成事業を実施しました。	…… P.4
「サロン主催者サロン」を行いました!	…… P.4
託児ボランティア わたぼうしはじまりました!	…… P.4
シリーズ 千種区の2025	…… P.5
千種区ボランティア連絡協議会の活動/善意の小箱	…… P.6





外国人も地域の構成員!つながりは、共感・親しみから広がります。

今、あなたのお住まいの地域に、外国人は住んでいますか？

実は、名古屋市の外国人住民数は78,435人と年々増加をしており、区別では、中区・港区につぎ千種区は3番目に多く、6,308人です。(平成29年12月末現在名古屋市外国人住民統計より)

文化、言葉、生活習慣の違いはあるものの、地域の中で外国人とともに生活する環境づくりは重要です。

今回は、地域コミュニティと外国人のつながりをテーマにした取り組みを紹介します。



南山大学留学生サロン



平成28年5月に南山大学とUR都市機構中部支社で連携協力に関する協定が締結されました。南山大学の留学生約100名が居住する「千代が丘団地」(宮根学区)では、平成29年12月から、自治会の協力を得ながら留学生主催のサロンが始まりました。地域の一員として関わりたい!という思いが伝わり、サロン会場の集会室には、小学生から高齢者まで多様な世代が集う場となりつつあります。切り絵やお菓子パーティーなど内容は様々で、参加者からは「外国人が住んでいるのは知っていて、お菓자에引き付けられて子どもと参加したら楽しかったわ。」「各国の料理や言葉をテーマにしたらもっと親しみがわくね。」と期待の声が届いています。留学生は、学区の体育祭にもボランティアとして運営に協力するなど、活躍する姿が地域活動の一助となっています。

主催: UR在住南山大学留学生



折り紙を教え合いながら、和気あいあい



南山大学留学生です。みんなで盛り上げていきましょう!

アジアン・カフェ



本山にある生協生活文化会館では、4か月に1回程度「アジアン・カフェ」と題し、外国人と日本人のお茶のみ交流会をしています。6月30日は七夕をテーマに紙芝居、フィリピンクイズ、短冊に願いごとを飾るなど内容盛りだくさん。

今回は、10月27日(土)午後1時30分~4時、参加費200円、開催予定です。



主催 アジアの平和、食と文化フェア 実行委員会

連絡先 コープあいち 生活支援課
TEL.052-781-6101

新たな環境に慣れたり、人間関係を築くことは、エネルギーが必要です。地域のグローバル化にむけ、多様な主体が関わり、外国人にとっても誰もが住みやすい地域づくりが求められています。

年間報告

- ・第3次地域福祉活動計画
- ・地域福祉推進協議会への支援
- ・ふれあい給食サービス事業への支援
- ・地域支えあい事業の実施(1学区)
- ・ボランティアセンター事業(相談 230件 ボランティア登録 4,847名)
- ・ボランティア養成講座(全6種 参加人数 67名)
- ・福祉体験学習への支援(実施件数 16件)
- ・高齢者等サロン整備等生活支援事業の実施(相談 299件、養成講座2回など)
- ・高齢者はつらつ長寿推進事業(延参加者 7,172名)
- ・千種区在宅サービスセンターの運営(貸出 1,435件 延利用者 17,487名)
- ・赤い羽根共同募金活動、歳末たすけあい募金活動の協力
- ・共同募金配分金助成事業(67件、693万円)
- ・ボランティア・NPO応援助成
- ・寝具クリーニングサービス事業
- ・サンタクロース派遣事業
- ・デイサービス事業の運営(延お客様 6,509名)
- ・千種児童館の管理・運営、留守家庭児童クラブ、いこいの家事業、学習支援事業
- ・都福祉会館の管理・運営、認知症予防事業
- ・千種区災害ボランティアセンター設置・運営訓練

運営協力

●千種区西部いきいき支援センター事業

- 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント(延お客様 10,818名)
- 総合相談・権利擁護相談、包括的・継続的ケアマネジメント支援
- 見守り支援事業 ■地域支援ネットワーク体制づくり
- 認知症初期集中支援チームの活動
- 認知症高齢者を介護する家族支援事業

●千種区介護保険事業所

- 訪問介護事業(延お客様 4,758名、サービス提供時間延べ 41,619時間)
- 居宅介護支援事業(延お客様 3,999名)

収支決算(単位:千円)

収入

会費収入	5,256
寄付金収入	469
補助金収入	60,656
受託金収入	91,903
事業収入	1,697
負担金収入	3,644
介護保険収入	62,604
借入金補助金収入	7,995
雑収入	732
受取利息収入	1,868
前期繰越金	42,279
収入合計	279,103

支出

人件費支出	141,024
事業費支出	35,102
事務費支出	20,264
助成金支出	15,281
負担金支出	5,608
借入金償還支出	7,995
積立資産支出	4,969
その他	240
次期繰越金	48,620
支出合計	279,103

「福祉教育」の取り組みをご紹介します(^_^)/

千種区社協では、区内の学校・企業などを対象に「福祉教育」を実施しています。「福祉教育」とは、障がい者本人から話を聞いたり、車いす体験や、高齢者疑似体験など様々なプログラムを通して、身近にある社会福祉問題と日常生活を結びつける役割を担います。

この「福祉教育」体験を通じて“ノーマライゼーション”の考え方や実践力を養い、多様性を認め、共生する思想を大切にしていきたいと考えています。

現在、こういった活動の多くは学校で実施させていただいております。ただ、福祉の現場は、地域にあります。子どもだけではなく全世代を対象とする福祉教育の実施に向けて、自治会や町内会での取り組みも応援させていただきますのでお気軽にご相談ください!

こうした活動のお手伝いをしてくださるボランティアさんも募集しています!
ご興味のある方は、担当 加藤までご連絡ください。



視覚障害当事者による講話@見付小学校



車いす体験@椋山女学園中学校

平成30年度

ボランティア・NPO 応援助成事業を実施しました。

公開プレゼンテーション式!

募金の見える化

7月7日(土)、共同募金配分金を財源に区内で活動するボランティア団体やNPO法人が行う福祉のまちづくり活動資金を助成する公開プレゼンテーション審査会を開催いたしました。

今年度は、書類審査を通過した計8団体がパワーポイントを使ったスライドショーやパネル、アンケート結果の報告、ダンス、実演など工夫を凝らして活動内容を発表していただきました。小学生親子・大学生・大人など幅広い層の方が審査員となり助成額の査定をいたしました。

発表後は、交流会を設け、団体同士が情報交換するなど活動の幅をひろげる機会になりました。皆様からいただいた募金を大切に、千種区の町を良くする活動を応援していきます。

公開プレゼンテーション審査会の様子



グループきらら



特別非営利活動法人 花*花

団体名	事業内容
特定非営利活動法人 花*花	「第13回 花*花ふれ愛まつり」
ORIGAMI (折り紙) 倶楽部	「わくわく折り紙教室」の開催
らっこの会	おはなし会
若水おやじの会	親子もちつき大会
グループきらら	懐かしい紙芝居で楽しもう
高見まちづくりを考える会	“だれもが安心して幸せに生活にできるまち”づくりをめざして「講談」を通して住民のふれ愛と支え愛を深める
特定非営利活動法人 名古屋コダーイセンター	食育の会
特定非営利活動法人 子ども&まちネット	理学療法士による「0歳からはじめる子どものからだづくり講座」事業

(助成金額は43万円)

「サロン主催者サロン」を行いました!



現在、千種区にサロンは89ヶ所! 色々な場所で日々開かれているサロンの主催者が集まるサロンを開きました。どんなサロンにしていっていいだろう? サロンでどんなお菓子を出しているの? イベントはどんなことしているの? などなど、サロンの主催者ならではの会話が飛び交っていました。

またゲストに、乗西寺サロンのスタッフ、中土篤子さんをお迎えし、「心と体を整える呼吸法」を教えてくださいました。パワーアップしたサロンに乞うご期待!

託児ボランティア

わたぼうしはじまりました!

子育てイベントや講座などで、子どもの見守りやちょっとした遊び相手をする「託児ボランティアわたぼうし」が、5月から活動を始めました。昨年講座を受けたメンバーが、順次、千種児童館や星ヶ丘保育園エリア支援保育所の子育て講座等で活躍中! 講座に参加したお母さんからは、「双子なので、見守ってくれるボランティアさんがいて助かった」と喜んでもらいました。

まだまだ、始まったばかりの子どもの寄り添いボランティア。興味のある方、フォローアップ講座も開催いたしますので、お気軽にお問い合わせください。





厚生労働省の統計によると、平成27年の段階で、日本の65歳以上人口は3400万人です。そのうち認知症の診断が出ている高齢者は280万人おり、軽度認知障害（認知症の一步手前の状態）の高齢者を合わせると860万人となります。日本の65歳以上の4人に1人は認知症・軽度認知障害で、生活の見守りや支援が必要な状態であり、今後、更に増えると考えられています。

名古屋市では、平成28年の段階で65歳以上人口は55万5千人で、認知症の診断が出ている高齢者は5万4千人です。軽度認知障害の人口をあわせると、更に増えると考えられます。

このことを踏まえ、千種区では様々な認知症予防の取り組みを積極的に行っています。その中のひとつに、認知症予防体操インストラクターの活動があります。今回はその活動についてご紹介します。

認知症予防のためには運動療法が重要と言われています。そのなかでも特に、頭と体の運動を組み合わせた「デュアルタスク」（ふたつのことを同時に行う）のエクササイズが認知機能を向上させることが、様々な研究の結果から分かってきました。



デュアルタスクを取り入れた、認知症予防体操を地域に普及していくための取り組みが認知症予防体操インストラクターです。認知症サポーター養成講座を受講したうえで、更に認知症予防体操インストラクター養成講座を受講した方のみがインストラクターとして活動を行うことができます。

日本福祉大学 荒深 裕規先生のご指導を受けながら、インストラクター自らが発信源となり、地域のサロンや高齢者はつつつ長寿推進事業（※）、学区の勉強会や市民講座などを訪問し、認知症予防体操を実践・普及できるよう活動しています。

認知症予防体操インストラクターに関してのお問い合わせがございましたら、千種区東西いきいき支援センターまでご連絡下さい。

※「高齢者はつつつ長寿推進事業」とは、健康づくりや生きがいづくりなど介護予防を目的とした集いで、区内8会場の中から1会場に登録して毎週1回ご参加いただく事業です。

高齢者の健康・福祉・介護のご相談は・・・

東部いきいき支援センター

担当学区
大和、上野、東山、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋

電話 781-8343

FAX 781-8346

桜が丘11-1 ソフィアビル1階

東部いきいき支援センター分室

宮根台1-4-24 山内ビル1階

電話 726-8944 FAX 726-8966



西部いきいき支援センター

担当学区
千種、千石、内山、高見、春岡、田代、見付

電話 763-1530

FAX 763-1547

西崎町2-4-1

千種区在宅サービスセンター内



備えは計画的に!



(作) あいち造形デザイン専門学校 まんが科 井指 七星さん

この度の「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」により被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

千種区ボラ連を知ろう!



ボランティアさんにインタビュー!

今回は、千種区ボラ連所属の配食ボランティアグループ「月木会」で活躍されている河田悦夫さんにインタビューさせていただきました。

あなたも「月木会」のメンバーになりませんか?



Q 活動を始められたきっかけはなんですか?

A もともと生協で働いていて、その間様々な困りごと相談を受けてきました。その中でも食事作りなど、家事に関する相談が多く退職後は地域福祉活動の前進、発展に貢献したいと思ったことがきっかけです。

Q 活動をされてみて、やりがいがったり感想を教えてください。

A 車を運転してお弁当を届けるだけという安易な考えだったのですが、これが大間違いでした。急な坂道や一方通行の道路が多く、思い通りに配達できません。ですが、玄関のブザーを押し、「こんにちは。お弁当のお届けです。」と呼びかけるとゆっくりとドアが開き、「ごろうさま。ありがとう。」と返事がありました。みなさんが月木会のお弁当を心待ちにされていることがよくわかり、疲れが吹き飛び、喜びを感じる一瞬でした。

Q 今後の意気込みをお願いします!

A 配達で伺うお宅はひとり暮らしの方が多く、コミュニケーションを大切に、見守り活動の役割も担っていかれたらと思っています。

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

<平成30年3月27日~平成30年7月26日>

- 名古屋ヤクルト販売 株式会社 様
- ひよこの会 様
- 株式会社 美濃庄 様
- 千種区地域女性団体連絡協議会 様

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825 / 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

● お問い合わせ先

TEL 【代表】 052-763-1531
 【ボランティアセンター】 052-763-1536
 【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
 【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
 【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>